

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価報告書

令和5年9月

常総市教育委員会

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

### 2 点検及び評価の対象

令和4年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

### 3 点検及び評価の方法

(1) 令和4年度常総市教育運営方針の重点事項に対する主な取組、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の相互的な評価を受けた。

(2) 令和4年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員が、その有効性を3段階で評価し、意見等を付した。

○ご意見をいただいた学識経験者

(順不同、敬称略)

秋 田 武	元常総市立三妻小学校長
豊 田 幸 裕	元常総市立石下小学校長

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

令和5年8月28日

常総市教育審査委員 秋 田 武

常総市教育審査委員 豊 田 幸 裕

## 1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実

- 学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導を充実し、教員の指導力の向上と指導のための環境整備、拡充を図る。(指導課)

### 【主な取組, 成果等】

・各校の学校改善プランの作成にあたり、昨年度の成果と今年度の課題において、「主体的・対話的で深い学び」に向けた取組を意識した改善プランの作成を実施するよう、指導・助言を行った。また、各種訪問時において、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくりや実践に関わることで、教員の指導力向上を図った。

- 外国語教育・外国人児童生徒の指導・支援の充実を図る。(指導課)

### 【主な取組, 成果等】

・小中学校外国語活動・外国語科の授業参観を行い、指導方法や評価についての指導・助言や情報提供を行った。また、オンライン研修動画を配付し、教員の指導力向上に努めた。市内小中学校へは、11名のALT講師を計画的に派遣し、指導支援を行った。外国人児童生徒の多い1園5校には、外国人児童生徒支援員を配置し、児童生徒の支援や保護者との関係づくりの援助をした。

- 土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)の活用を促進させ、学習につまずきがみられる児童に対して、学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。(指導課)

### 【主な取組, 成果等】

・平日(火・水・木曜日)は水海道地区3校(水海道小・豊岡小・絹西小)、石下地区2校(石下小・岡田小)の5会場で実施。土曜日は公共施設(市立図書館・豊田文化センター)の2会場で継続実施した。登録者数総数は142名で、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図ることができた。また、指導員と保護者が情報交換をすることで、信頼関係のもとで児童の学習支援を行うことができた。

## 2 安全でいきいき学べる教育環境の創造

- 学校施設の老朽化対策等を進め、教育環境の整備を推進する。(学校教育課)

### 【主な取組, 成果等】

・各学校からの営繕要望による施設の修繕や点検業者からの報告書等により、設備を適切

に整備・維持管理し、安全でいきいきと学べる教育環境の整備に努めた。

○ 危機意識を育てる防災教育を推進する。(指導課)

【主な取組, 成果等】

・市内各小中学校において「危機管理マニュアル」の見直しを行い、防災計画のもとに不審者・火災・洪水等の避難訓練を実施し、防災意識の高揚を図った。9月には、全校においてマイタイムライン作成や講義などそれぞれの形で防災学習を行った。

### 3 市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進

○ それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人一人の資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い受講者の安全に配慮しながら、前期(6~11月)に5講座(くみひも, ビーズアクセサリ, 足揉み健康法, 筆ペン, ワード)を、後期(12~3月)に4講座(絵手紙, こと, パンの花, フットコンディショニング)を開催した。  
・講座終了後は受講者自らが継続して学習できるよう自主運営の支援(組織づくりや会場借用手続きの助言)を行った。

○ 地域交流センターを中心に関連施設と連携した事業を展開することにより、市内外の交流を促進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

・当館のライトアップにより季節に応じた景観を演出し、地域のランドマークとしての注目度向上を図った。  
・市民一人ひとりが自らの災害リスクを把握し、今後も起こりうる災害への対応について考えていただく一助として、国土交通省関東整備局下館河川事務所と連携して設置したマイ・タイムライン作成体験機器や水害関連展示物を活用し、市民の防災意識向上に努めた。

○ 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全、歴史的建造物、資料等の利活用を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

・「長塚節文学賞」の作品を広く募集し、入選作品集の刊行も行うなど「節のふるさと常総」の文化を全国に発信した。  
・市内に所在する文化財の適切な調査、保存に努めるとともに、「坂野家住宅」をはじめとする歴史的資産を撮影、学習等に有効活用することで知名度の向上等を図った。

- 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携, 子ども会組織の円滑な運営を支援する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・青少年育成常総市民会議および青少年相談員会との共催で, 青少年の広い視野を持った考え方や柔軟な発想力・想像力の向上を図るため, 新型コロナウイルス感染症の影響により開催方法を動画審査に変更して「少年の主張大会」を開催した。
- ・常総市子ども会育成連合会による安全共済会事務取扱等を支援し, 子ども会組織の円滑な運営を支援することにより, 心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

#### 4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興

- 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ, 健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し, 安全で安心なスポーツ環境の提供及び整備に努める。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・安全で安心なスポーツ環境を利用者に提供するため, また避難所としても指定されている水海道及び石下総合体育館の消防設備, その他不具合箇所の修繕を実施し, 緊急時に対する充実を図った。

- 指定管理者との連携による社会体育施設の円滑な管理運営を図るとともに, 民間のノウハウを活用したスポーツ事業を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・市民の誰もが気軽に参加できるようなスポーツ教室を実施するために, 社会体育施設の指定管理者である「ミズノグループ」に業務委託をすることで, 事務の削減・効率化の実現ができた。また, ノウハウを生かしたことで, より充実した内容となり, 質の高い適切な指導者の確保が可能になった。

#### 5 健康を増進する食育の充実

- 安全・安心な学校給食の提供と食育の更なる推進を図る。(学校給食センター)

【主な取組, 成果等】

- ・給食センター従事者及び学校の給食補助員等に対し通常の保菌検査(毎月2回)やノロウイルス検査(10月~3月, 毎月1回)を実施し, 衛生管理の向上を図った。
- ・常総市産の旬の食材を活用し, 地産地消の推進を図った。

- ・栄養教諭を中心に食に関する指導を実施し児童生徒及び保護者等へ食育の推進を図った。
- ・食物アレルギーや宗教上の理由などで同じ給食を食べられない子供たちにも、みんなで一緒に食べる学校給食の楽しさの共有と多文化への相互理解のため、提供する食事に配慮した「みんなでスマイル給食の日」を実施した。

## 6 心豊かにする読書教育の充実

### ○ 本に親しむ習慣の定着と質・量の向上を図る。(指導課)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・県委託事業「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を通して、継続的な読書活動を各校で実施した。
- ・令和4年度は、県教育長賞受賞の児童が1,025名、生徒が223名、県知事賞受賞の児童が97名、生徒が45名という実績であった。
- ・読書感想文コンクールの課題図書について案内を行い、質の高い読書活動が進められるよう各校への周知を図った。

### ○ 市立図書館と学校図書館等との緊密な連携を図る。(図書館)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・子どもの読書活動の推進の一環として、小学生の図書館見学(5校)や職場体験(2校)の受入れを行った。
- ・図書館出前講座を実施し、図書館業務などの説明を行った。(三妻小学校)
- ・各保育所, 幼稚園に、図書館が所蔵する絵本50冊を2ヵ月ごとに巡回して配本した。
- ・小中学校の学校図書館への配本を行った。(200冊/年: 小学校7校, 中学校3校)

### ○ 市民が知る喜びや学ぶ楽しさを実感できる図書館を目指し、幅広い資料の収集と、レファレンスサービス等の充実に努め、利用促進を図る。(図書館)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・購入や受贈により、図書3,732冊・CD309点を新たに収蔵, 雑誌129種の収集を行った。
- ・相互貸借制度による他館からの借受は387件, 当館からの貸出は131件であった。
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用やレファレンス協同データベース事業への参加, 職員向け実務研修を行いレファレンスサービスの充実に努めている。
- ・読み聞かせボランティア育成研修を行った。(年2回)
- ・子育て支援との連携によるブックスタート事業を行った。(保健センター内で8回, 福祉センター内で4回実施した。)

- ・令和4年度は図書館開館40周年にあたり、その記念事業として絵本作家の真珠まりこさんを招いて講演会を開催した。59名の参加があり盛況を得た。
- ・40周年の記念品として、図書館独自のオリジナルデザインのトートバックを作成した。
- ・読書ノートを作成し、借りた本などを記録してもらい、読書推進に寄与した。また、40冊達成者にオリジナルトートバックを配布した。
- ・その他、「ハローミュージアム（2回開催）」、「おもしろ理科先生」のイベントを図書館において開催し、図書館へ足を運んでいただくきっかけ作りを行った。

## 7 安心して子育てできる就学前教育の充実

### ○ 幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図る。（指導課）

#### 【主な取組、成果等】

- ・保幼小接続のための合同研修を実施した。幼児教育と小学校教育の貴重な情報交換の場となった。小学校と幼児教育施設での相互授業参観及び情報交流を推進し、相互の接続カリキュラムを共有し、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を踏まえた円滑な接続を図った。

### ○ 親子の絆づくりを考えた就学前家庭教育の充実を図る。（生涯学習課）

#### 【主な取組、成果等】

- ・幼稚園、保育園において子どもとのかかわりや家庭生活のあり方を学習し、家庭教育力の向上を図るために資料配布を実施した。

### 「未来に夢をもち 『生きる力』を育む 学校教育の充実」について

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、基盤となる基礎・基本が大切である。学校改善プランの作成に当たっては、その点を押さえながら各校の課題解決に向けた実効的なプランの作成ができるよう指導・助言を行うとともに、各種訪問の機会等を通して、実践上の課題等への適切な指導・助言に努めていただきたい。
- 外国語教育の充実のため、授業研究を通して適切な指導と評価のあり方について研修を行い、教員の指導力の向上に努めていただきたい。また、外国籍児童生徒に対して適切な支援ができるよう外国人児童生徒支援員の増員を図られたい。
- 土曜日補習教室については、学習習慣の定着のために有効な施策であり、一定の成果を上げている。しかし、会場校以外の児童の参加が少ない状況が続いていることから会場校を増やしたりするなど会場校以外の児童が参加しやすくするための手立てを工夫されたい。

### 「安全でいきいき学べる教育環境の創造」について

- 小中学校の統合について、これから就学時期を迎える保護者や在学中に統合に関係する児童生徒の保護者にとっては、とても関心が高い。「適正配置実施計画」は示されているがデリケートな問題でもあり、統合の第二段階についても、その時期・新校舎の場所・学校名など、これからの課題となっている。アンケートだけでなく統合準備委員会を立ち上げ、保護者や地域住民の意見を聴くなどの具体的な行動が求められる。教育環境の整備においても将来を見通しながら現在在籍している児童生徒が安全な教育環境の中で、安心して教育が受けられるよう計画的に取り組んでいただきたい。
- コロナ禍で中止となっている「小学校陸上記録会」「小中音楽会」など、統合が完結してから再開しようという話もある。「適正配置実施計画」の情報提供は、学校経営・市内の学校行事計画にも重要なことと思われる。今、在籍している児童生徒のためにできることは何か。指導課には、常総市の良き伝統が少しでもつながるような指導・助言をお願いしたい。
- 防災教育については、危機管理マニュアルを見直しながら、関係機関や地域と連携し進めていただきたい。

### 「市民の豊かなくらしを支える生涯学習の推進」について

- ライフステージに応じた多様で魅力的な学習機会の提供に努めていただきたい。
- 地域交流センターの展示物等を活用して市民の防災意識の向上に努めるとともに、今後関係機関と連携した事業を進められたい。

- 地域交流センターの歴史的な展示資料についてのイベント等を通して、地域の歴史について関心を高めるための工夫をするとともに、長塚節生家や坂野家住宅などに関するパンフレットの作成配布などを通して郷土遺産保全への意識の高揚に努められたい。
- 青少年の健全育成のために関係機関とのさらなる連携に努められたい。

## 「市民の健康を増進する生涯スポーツの振興」について

- 生涯スポーツの視点から、幅広い年齢が参加できるスポーツ教室を開催していただきたい。
- 指定管理者との連携により、質が高く魅力あるスポーツ教室を開催し、市民の健康増進に努めていただきたい。
- 中学校部活動の地域への移行について、サッカー部・野球部の学校卒を越えた合同練習への取り組みからスタートしていることに感謝したい。今、中学校では「教員の働き方改革」の流れもあり、朝練の中止・土日のどちらか一日休部・平日週に一回の休部日が設けられている。強い向上心を持つ生徒と体力づくりをねらう活動とのギャップもある。スポーツ少年団やクラブチームとの連携、外部コーチの確保に努めて、生徒達の夢を育てていただきたい。

## 「健康を増進する食育の充実」について

- 食物アレルギーへの対応では、献立表への食材記載、「アレルギー配合表」の配付、三者面談の実施など丁寧な対応に感謝したい。今後も児童生徒の成長を踏まえて、学校・保護者・給食センターでの情報共有に努めていただきたい。
- 食物アレルギーの児童生徒・外国人児童生徒が増加して多様な対応を求められるなか、みんなで一緒に食べる学校給食と多文化への相互理解のため、提供する食事に配慮した「みんなでスマイル給食の日」への取り組みを評価していた。R4年度で廃止になったが、別の視点からの新たな取り組みをお願いしたい。

## 「心豊かにする読書教育の充実」について

- 「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を活用して、特に中学生の読書習慣の向上に努めていただきたい。将来への夢を育むために、進路指導関連図書等で読書への関心を高めていただきたい。
- 市立図書館をより身近なものとするために、小学生の段階において各学校で「貸し出しカード作成」に取り組むなど図書館利用への意欲付けを図られたい。図書館施設を活用しての講演会・映写会などの魅力的なイベントのより一層の充実をお願いしたい。
- ホームページを活用した新刊図書の紹介やマイページ活用のPRなど、さらに魅力あ

る図書館運営を進めていただきたい。

## **「安心して子育てできる就学前教育の充実」について**

- 保幼小の継続的な相互訪問や情報交換等を通して、小学校への円滑な接続のための研修の充実に当たられたい。
- 就学前家庭教育の充実のため様々な機会を通して情報提供に努められたい。

## 個別事業に対する主な取組、成果等及び教育審査委員の評価

<b>達成度</b>	計画又は目標を	<b>有効性</b>	
○	達成又は概ね達成	◎	成果がある
△	及ばず	○	一定の成果がある
×	実施できず	×	成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
<b>1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実</b>						
<b>①学校教育内容の充実</b>						
	新たな教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育補助員や外国人児童生徒支援員を配置し、効果的な活用を図った。</li> <li>・適応指導教室（かしのきスクール）と学校との連携を図ることで、不登校児童生徒への支援にあたった。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童や外国人児童生徒への適切な支援が行えるよう補助員や支援員の更なる増員に努めていただきたい。</li> <li>・土曜日補習教室の会場校を増やすなどより多くの児童が利用できるような手立てを工夫していただきたい。</li> </ul>
	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日補習教室（常総ほっとサタデー教室）を開室することで、学習のつまづきを補い、学習習慣が身に付くように支援した。</li> </ul>	○	継続	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生議会については、市政への関心を高めるために今後も継続して実施していただきたい。</li> </ul>
	体験的地域学習の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生議会を開催し、中学生の視点から市政へ提案することで、市政を身近なものとして捉えられる機会となった。</li> <li>・地域の環境や資源を教材に、地域の人材を活用する体験学習を充実させた。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの有効活用のために支援員の配置や研修の充実に努めていただきたい。</li> <li>・外国語教育については、担任とALTとの連携を密にしながら、充実した学習活動が展開できるよう努力されたい。</li> </ul>
	情報化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末を導入し、ロイロノートの思考ツールや意見共有機能を活用した授業改善により、児童生徒の主体的・対話的な深い学びの実践につながった。また、1人1台端末のオンラインを活用した学習への対応ができた。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の充実については、関係機関と連携しながら適切な就学相談に努められたい。</li> <li>・教職員の育成については、ライフステージに応じた研修に努め、人間力・指導力の向上のため</li> </ul>

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	外国語教育・国際教育の推進	・外国語活動・外国語科の授業において、ALTの協力を得ながら、言葉や文化の違いについて理解を深めた。	○	継続	◎	めに適切な助言指導をしていた だきたい。
	特別支援教育の充実	・市保健推進課や児童デイサービス、市内幼稚園・保育園等の関係施設と連携し、年長児の保護者（希望者）との就学相談を実施した。学校見学の機会を提供し、適切な就学先が見いだせるよう助言・支援した。	○	継続	◎	
	教職員の育成	・2年次・3年次教員への訪問指導を実施し、教科等の課題解決のための助言・指導を適宜行った。 ・「JOSO教員アカデミー」において、見識を深めるとともに教員間の情報共有の場となった。	○	継続	◎	
②健康な児童生徒の育成	教育相談の充実	・適応指導教室にスクールカウンセラー（SC）を5名配置。毎日SCを配置し、児童生徒や保護者の教育相談を行った。SC以外にも相談員1名、指導員4名を配置し学習支援や自立に向けた支援を行った。 ・市内7校にスクールソーシャルワーカー（SSW）が派遣され、学校と連携しにくい家庭との連携が取れるようになったと各校から報告された。	○	継続	◎	・スクールカウンセラーや相談員、指導員、スクールソーシャルワーカー等と連携しながら不登校児童生徒等への適切な支援に努めていただきたい。 ・感染症対策を継続しながら体力向上のために適切な指導ができるよう助言していただきたい。 ・いじめ問題については、適切に把握し早期解決のための適切な対応に当たられたい。
	体力向上及び健康管理の強化	・運動会は半日開催やブロック開催を継続したが、各校で持久走大会が行われるなど、体力向上体制が前年よりも強化された。 ・基本的な感染症対策を継続して行い、感染症の拡大防止に努めた。	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校によるあいさつ運動を実施した。</li> <li>道徳教育において感染症に関わるいじめ・中傷等を予防する視点での取り組みを行った。</li> </ul>	○	継続	◎	
③校種間・高等教育機関との連携						<ul style="list-style-type: none"> <li>異校種間の交流の機会を提供して相互理解に努められたい。</li> </ul>
	校種間の協力・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>保幼小合同研修会において、幼児教育施設と小学校の情報交換の場を設けた。</li> <li>異校種の授業参観を行った。</li> <li>新入学児についての情報共有を図った。</li> </ul>	○	継続	◎	
	高等教育機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔教育において大学や企業との連携を図った。</li> </ul>	○	継続	◎	

<b>2 安全でいきいき学べる教育環境の創造</b>						
①学校教育環境の整備						
	いきいき学べる教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年5月に公表した「常総市立小中学校適正配置実施計画」に基づき、複式学級が複数発生している市立大花羽小学校と市立菅原小学校の統合に向けての協議を進め、令和5年3月31日をもって大花羽小学校を閉校とし、菅原小学校と統合した。</li> </ul>	○	<p>今後は、単学級が継続している鬼怒中学校の統合、複式学級が発生している五箇小学校の統合に向けて取組を進める。</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合の推進について、第二段階においても「統合準備委員会」を早期に立ち上げて、スムーズな統合を目指していただきたい。</li> <li>児童が毎日使用しているトイレの改修など、各校の状況に応じて、早期に対応していただきたい。</li> <li>家庭でのネット環境格差への対応について、貸出用Wi-Fiルーター100台の効率的な運用をお願いしたい。</li> <li>書籍の価格も高騰しているために、さらなる学校図書費の増額について、検討していただきたい。</li> <li>通学路中の「子どもを守る110番の家」について、ステッカーの配付だけでなく、</li> </ul>
	学校の安全対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所及び老朽化した施設の修繕・工事を実施した。</li> </ul> <p>小学校 14校 修繕料 9,360,940円 工事費 13,622,928円</p> <p>中学校 5校 修繕料 4,870,330円 工事費 10,090,000円</p>	○	<p>適宜、修繕・工事を実施するとともに、適正配置計画に基づき校舎等の改修を進めていく。</p>	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校情報化の推進	<p>【GIGAスクール構想の推進】</p> <p>市内の各小中学校の普通教室及び特別教室等で故障や不足していた授業で活用する大型モニター機器を、内閣府の補助金を活用して整備した。</p> <p>これにより、どの教室等においても、GIGAスクール端末等と接続して大型モニターに映し出して、授業を行うことが可能となり、ICT活用の幅が広がった。</p> <p>国においても、さらにデジタル教科書等の活用を推進していく方針のため、市立小中学校に通学する児童生徒にとって、より良いICT教育環境の構築に向けて、情報収集しながら、適宜対応を進めていく。</p>	○	授業目的公衆送信補償金制度へ加入継続、AIドリルの利用継続、授業支援ソフトウェア（ロイロノート）の利用を継続し、学校におけるICTの効果的な活用方法を指導課及び学校と協議しながら、引き続き推進していく。	◎	通学時間帯の在宅状況確認や通学の様子を聞くなど、各学校から連携を図っていただきたい。
	備品等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般備品購入 49,300千円</li> <li>・教材備品購入 11,498千円</li> <li>・図書購入 5,307千円</li> </ul>	○	継続	◎	
	通学環境の整備	<p>小中学校の通学路の安全確保に向けた取組については「常総市通学路交通安全プログラム」に基づき関係機関が連携して安全確保を図っている。</p> <p>令和4年度は、市内小中学校全校を対象とし、通学路安全推進会議を開催後、関係機関による点検を行い対応策を協議した。35箇所 of 改善要望箇所が報告され、17箇所について安全対策を実施済。その他の改善要望は引き続き対策を検討し、実施していく予定である。</p>	○	関係機関や関係課と連絡を密にし、通学路の安全確保に努める。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	就学支援の充実	経済的理由による就学困難な児童及び生徒の保護者に対する就学援助を行った。 ・昨年度に引き続き、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行った。	○	継続	◎	
	学校事務の共同実施の推進	・平成25年より始まった共同実施も10年目になり、それぞれが自分の立場や役割を理解・自覚し、積極的に活動できるようになった。 ・今年度も市内3つの共同実施班(給与班・旅費班・庶務班)に分かれ、事務書類の相互検閲、当市初赴任者や経験の浅い事務職員への支援、市会計や年末調整・学校長集金についての研修を行い、スキルアップに繋がった。	○	継続	◎	
	②防災・安全教育の充実	・各学校において「危機管理マニュアル」を随時見直すと共に、洪水・火災・不審者等を想定した避難訓練を計画・実施した。	○	継続	◎	・小中学校合同避難訓練等の連携にも配慮した取り組みを工夫していただきたい。
	③地域と連携する学校運営	・「学校評議員制度」により各学校において地域の関係者が学校評価に関わり、客観的な外部評価や意見を取り入れ、学校運営上の課題の把握と改善に努めた。	○	継続	◎	・多様な視点からの学校評価を生かし、地域に求められる学校づくりをしていただきたい。

3 市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進						
	①生涯学習の充実 推進組織づくり	・地域女性団体連絡会をはじめ社会教育諸団体への活動支援。 ・地域連携事業における地域で活躍する人材の確保および指導者としての活用。	○	継続	◎	・各地区文化センターが気持ちよく利用できるような適切な管理運営に当たっていただきたい。 ・学習プログラムの提供については、市民のニーズをとらえ、魅力ある講座の開設に努めて

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙やホームページ，全戸配布チラシを活用し，講座の受講生募集やイベントの案内情報を提供。</li> <li>・ 各施設の利用団体（サークル）をリスト化し，各施設へ掲示したほかホームページや講座募集チラシに掲載して紹介。</li> </ul> 団体数 184団体（R4. 4. 1時点）	○	継続	◎	いただきたい。 ・ 外国籍家庭への求めに応じた適切な支援ができるよう支援員の増員を図りたい。 ・ 公民館活動については，感染症の状況を把握しながら実施方法を工夫し開催されたい。
	学習施設の機能充実	交流拠点としての整備や老朽化による不良個所の修繕を実施。 <生涯学習センター> 空調設備更新工事	○	計画的に修繕を実施していく	◎	
	施設の有効利用	各種講座・イベント・団体の研修等に利用。 生涯学習センター：37,570人 地域交流センター：21,425人	○	引き続き施設の有効利用を図る。	◎	
	学習プログラムの提供	筆ペン，フットコンディショニング，Word基礎講座など計9講座を開講。 受講者計：330人	○	受講者の意見やアンケート結果を反映した講座の開催。	◎	
	自主企画の推進	・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，計画はしていたが，自主企画は実施出来なかった。	△	継続	×	
	地域課題対応の活動推進	市内小中学校(19校)において，家庭教育学級を開催した。 延べ回数 32回 延べ参加者 991人	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	訪問型家庭教育支援の推進	支援員が中心となり，外国籍家庭の保護者，児童生徒を対象に家庭訪問や面談等を実施した。 支援員8名の活動延時間 162.5時間	○	継続	◎	
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催及び各公民館バスハイク等の自主事業の実施を予定していたが，新型コロナウイルス感染症の影響により，全部の地区での開催とはならなかったが，一部地区で開催することが出来た。 6/11～12 石下中央公民館まつり 843人来場 6/18～19 水海道公民館まつり 604人来場	△	継続	○	
②地域文化の醸成						
	文化芸術推進基本計画の推進	既存事業の継続と情報発信を実施。	○	継続	◎	
	文化事業の推進	文化団体の活動発表の機会を提供。 【市民文化祭】 18事業（生涯学習センター） 期間：10/22～11/3 【芸術文化のつどい】文化協会主催 作品展示3団体（コロナのため縮小開催）	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用した授業等を実施し，俳句や短歌の指導を充実させ，市内全校の児童生徒応募するよう広く呼びかけていただきたい。</li> <li>・指定文化財等についての関心を高めるためのイベントの実施や広報の工夫をしていただきたい。</li> <li>・デジタルミュージアムのさらなる充実を図っていただきたい。</li> </ul>
	地域文化情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第25回長塚節文学賞（応募作品数）</li> <li>短編小説部門 140点</li> <li>短歌部門 4,789点</li> <li>俳句部門 6,914点</li> </ul>	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	郷土遺産の調査・保護の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定重要文化財「坂野家住宅」の定期的な点検を行った。</li> <li>・公共事業等の開発行為に伴う試掘調査を実施した。</li> <li>・市内指定文化財等件数 (令和5年3月31日現在) 国指定：1 県指定：9 市指定：53 国登録：3</li> </ul>	○	継続	◎	
	歴史文化等資料の整備と情報提供	・常総市デジタルミュージアムによる情報発信を継続。	○	継続	◎	
③青少年の育成						<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との連携については、感染症の状況をみながら無理のない範囲で必要な活動をしていただきたい。</li> <li>・「子どもを守る110番の家」については、毎年、確認するなど緊急時において活用できるようにしていただきたい。</li> </ul>
	関係機関・関係団体との連携	青少年相談員会による街頭指導活動や、茨城県青少年育成協会による事業等の他、青少年育成常総市民会議の活動も令和3年度に比べると再開しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施への影響は大きい。	△	継続	○	
	育成組織の強化	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業も多く、依然として影響は大きいですが、開催方法を変更し「少年の主張大会」を実施した。	○	継続	○	
	学校・家庭・地域との連携	放課後子ども教室について、9校開校した。	○	継続	◎	
	活動企画の充実	活動企画については、新型コロナウイルス感染症に見通しがつくまで、新規事業の実施等については見送っている。	×	継続	×	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	地域環境の改善	「子どもを守る110番の家」の登録拡充を図り、安全な地域づくりを推進している。 登録状況：930件	○	継続	◎	

4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興						
①スポーツ活動の促進	生涯スポーツの普及	○スポーツ教室の開催 ・開催教室募集定員 1,309人 ・申込み数 853人 ・申込み率 65.2% ・事業費 1,100,000円 【スポーツ推進・普及分野】 ①柔道教室 35人 ②ジュニアハンドボール教室 73人 ③レディースゴルフ教室 12人 ④ジュニアバドミントン教室 21人 ⑤卓球教室 18人 【健康推進分野】 ①健康水泳教室（年間36日間） 638人 ②アクアビクス教室 16人 ③立腰体操教室 10人 ④太極拳教室 15人 ⑤シェイプアップ・ヨガ教室 15人	○	開催する各種スポーツ教室の種目が定着し、応募者の低下傾向にあるため、今後は市民のニーズに合った新たな種目を検討し実施する。	◎	・スポーツ教室等の申込み率を高めるために、指導者の招聘などの工夫を図りたい。また、利用者の声をチラシに載せるなどロコミを重視していただきたい。
	スポーツイベントの開催	・新たなプログラムとして常総スポーツフェスタを検討し、常総市スポーツ協会、指定管理者、市の共催で行えるような活気あふれるイベントを計画したが、新型コロナウイルス感染対策により実施まで至らなかった。	△	計画までは検討したが、実施できなかったため、今後も継続。	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	自主企画の推進	○市内各種スポーツ団体への活動補助金交付 (5団体211,000円のうち、3団体89,000円が事業実施済み) ※2団体122,000円は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小規模開催及び開催を自粛したため、補助金の返還とした。	△	本年度を最終交付年度とし、各交付団体には自主的な大会運営を指導する。	○	
	競技スポーツの振興	○第1回いきいき茨城ゆめ国体開催記念中学生ハンドボール大会 第74回国民体育大会ハンドボール競技の開催を記念して心身ともに健全な青少年育成とハンドボール競技の普及向上を図ることを目的に開催した。 大会結果： 男子優勝＝手代木中学校 女子優勝＝けやき台中学校	○	地域の特色あるスポーツとして、大会運営の演出を工夫し、更なる充実と競技力向上に向け継続。	◎	
	スポーツにおける広域連携・産官学連携	・スポーツに対する多様なニーズや市単独で解決できない課題に対応するため、広域連携かつ官民連携組織として、7市で構成されるプラットフォームを組織した。同組織の設立の目的として「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム」の推進計画のもと、産学官連携を図る。 ※7市：常総市・守谷市・龍ヶ崎市・牛久市・つくばみらい市・取手市・坂東市	○	構成7市が連携し目的を達成するため引き続き継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②	指導者・活動団体への支援 指導者への支援と確保	<p>○スポーツ推進委員活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 @30,000円×16人=480,000円</li> <li>・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>①全国スポーツ推進委員研究協議会</li> <li>②市民歩く会</li> <li>③常総市近隣スポーツ少年団駅伝大会</li> <li>③その他 各種研修会への参加</li> </ul> </li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症対策により一部の活動が実施できなかった。</p> <p>○スポーツ少年団指導者育成及び確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートコーチ養成講習会への参加促進</li> </ul> <p>○スポーツ教室における指導者活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①柔道教室(スポーツ協会石下柔道部)</li> <li>②レディースゴルフ教室(スポーツ協会ゴルフ部)</li> <li>③健康水泳教室(スポーツ推進委員)</li> <li>④ジュニアハンドボール教室 (スポーツ少年団ハンドボール指導者)</li> <li>⑤太極拳教室(スポーツ協会太極拳部)</li> <li>⑥卓球教室(スポーツ協会卓球部)</li> </ul>	○	市内各種スポーツ団体に対し、スポーツに係る情報を積極的に提供し、指導者の育成と資質の向上に努める。更に主催するスポーツにおいて、市内スポーツ団体の指導者を積極的に活用することで、地域の人材育成と指導者の確保を図る。	◎	・中学校部活動の地域移行をねらって、指導者の育成・確保に努めていただきたい。
	活動団体への支援	<p>常総市スポーツ協会及び常総市スポーツ少年団の事務局として、加盟するスポーツ団体や会員の交流並びに自主事業の運営を実施。</p> <p>また、団体運営のための補助金申請事務を実施。</p> <p><b>【補助金交付額】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①スポーツ協会 1,800,000円</li> <li>②スポーツ少年団 900,000円</li> </ul> <p><b>【加盟団体数及び会員数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①スポーツ協会 34団体 1,824人</li> <li>②スポーツ少年団 31団体 498人</li> </ul>	○	少子高齢化の進む中、自主的な組織運営が図られ、会員の増加に向け継続的に支援を実施する。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	総合型地域スポーツクラブへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育施設の利用許可</li> <li>・社会体育施設の優先予約</li> </ul> </li> <li>○活動事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブ主催事業のお知らせ版への掲載</li> </ul> </li> </ul>	○	今後も活動のPR等による支援を継続。	◎	
③スポーツ施設の有効活用						<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者との連絡により質が高く魅力あるスポーツ教室を開催し、市民の健康増進に努めていただきたい。</li> </ul>
	スポーツ施設の整備	<p><b>【指定管理施設整備事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水海道総合体育館      10件      4,224,891円</li> <li>○水海道球場              4件      659,010円</li> <li>○きぬ温水プール        8件      6,760,292円</li> <li>○吉野サン・ビレッジ    2件      1,147,410円</li> <li>○石下総合体育館        3件      2,986,423円</li> <li>○石下球場                1件      742,500円</li> <li>○その他修繕              2件      404,250円</li> <li style="text-align: right;">合計                          16,924,776円</li> </ul> <p><b>【石下体育館・武道館解体事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○請負工事費105,380,000円  (前払金) 42,150,000円  (令和5年度繰り越し) 63,230,000円</li> </ul>	○	指定管理者との連携を密にし、利用者への安全・安心なスポーツ環境の提供と満足度の向上を目指し、計画的に整備事業の継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校体育施設の開放	<p>○開放対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校14校, 中学校5校</li> </ul> <p>○開放時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育館 <ul style="list-style-type: none"> <li>平日 18時～22時</li> <li>土日祝 8時～22時</li> </ul> </li> <li>・小学校校庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>土日祝 8時～17時</li> </ul> </li> </ul> <p>(大生小・飯沼小)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平日 18時～22時</li> <li>土日祝 8時～22時</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校体育館・武道館 <ul style="list-style-type: none"> <li>平日 18時～22時</li> <li>土日祝 8時～22時</li> </ul> </li> <li>・中学校校庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>土日祝 8時～17時</li> </ul> </li> </ul> <p>○利用団体数 66団体 (一般有料20団体, 一般減額3団体, 免除43団体)</p> <p>○利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館 52,399人</li> <li>・校庭 7,654人</li> <li>・武道館 6,192人</li> <li>合計 66,245人</li> </ul>	○	新型コロナウイルス感染症対策を維持しつつ, 今後も利用者は増加していくものと思われるため, 円滑な開放事業の運営を継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	施設管理・運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理者による施設の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理施設の利用者数 231,354人</li> <li>※対前年度 130%</li> <li>・自主事業（スポーツ教室及びスポーツイベント）開催実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間45教室（上期・下期）開催</li> <li>参加者数 20,861人</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○指定管理者による施設整備実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備件数 29件</li> <li>・整備経費 1,172,238円</li> </ul> </li> <li>○指定管理料 97,750,000円</li> </ul>	○	新型コロナウイルス感染症対策を維持しつつ、今後もより多くの市民がスポーツを身近に感じられるよう協力し継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
5	健康を増進する食育の充実					
①学校給食の充実	<p>・児童一人ひとりが健康な生活を送るために必要な栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、郷土への関心を深め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うために地産地消の推進を実施した。</p> <p>&lt;給食提供数&gt;  豊岡13校 1日3,014食 年194回  玉 10校 1日2,753食 年198回  (4回増は下妻市3校分 1日720食)</p> <p>&lt;献立内容の充実&gt;  ・給食主任献立会議を行い、児童生徒や学校の要望を取り入れ献立の充実や給食業務の改善を行った。  ・市内統一献立や行事食、郷土料理などを給食に取り入れ内容を充実させるとともに、日本の優れた伝統的な食文化についても理解するよう啓発した。  ・国の事業「国産農林水産物販売促進緊急事業」を活用したマダイや「下妻市学校給食食育推進協議会」から提供されたローズポークなどを給食に取り入れた。</p> <p>&lt;地場産物会議&gt; 各センター年11回  ・常総市産 米 100%  野菜・穀物・肉等を含む食材全体  豊岡 40.6%  玉 41.2%</p> <p>・野菜や生産者を学校掲示物や校内放送で紹介した。</p>	○	健康な生活を送るためにも必要な栄養バランスのとれた給食を提供していくため継続。	◎	・「献立」については、地産地消のさらなる推進と、総カロリーだけでなく、主食と副食の調和、味の濃淡にも配慮を求めたい。	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	②安全・安心な学校給食の提供	<p>「学校給食衛生管理基準」等に基づいた衛生管理や保菌検査を実施し、食中毒発生を防止した。給食食材においても安全・安心な食材の購入に努めた。</p> <p>&lt;衛生管理&gt;</p> <p>○衛生検査（食材、ドア、手指、落下菌等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県薬剤師会検査センター</li> <li>各センター年3回実施</li> <li>検査手数料 各センターとも216千円</li> </ul> <p>○害虫等駆除 各センター年12回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託料 豊岡センター429千円</li> <li>玉センター 419千円</li> </ul> <p>&lt;保菌検査&gt;</p> <p>対象者：給食センター職員 学校給食補助員及び用務員等</p> <p>○保菌検査（5項目） 毎月2回 （赤痢・腸チフス・パラチフス・0157・サルモネラ）</p> <p>○ノロウィルス（10～3月） 毎月1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡センター 38人 1,211千円</li> <li>・玉センター 31人 1,010千円</li> </ul> <p>（下妻市 6人分含む）</p> <p>&lt;安全・安心な食材の使用&gt;</p> <p>○食材の成分表や原産国，生産国を確認し，安全・安心な食材を購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札 月見積り合わせ 年11回</li> <li>学期見積り合わせ 年 3回</li> </ul> <p>&lt;施設・調理機器の更新修繕&gt;</p> <p>施設や調理機器について適宜更新修繕を行い，継続して安全に給食を提供した。</p>	○	継続	◎	<p>・「学校給食衛生管理基準」等に基づいた，衛生管理や保菌検査を実施し，安全安心な学校給食の提供に，努めていただきたい。</p>

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊岡センター 更新 配送用コンテナ4台 1,980千円 ほか 修繕 36件 4,155千円</li> <li>○玉センター 更新 配送用コンテナ5台 2,673千円 攪拌機 1,133千円 ほか 修繕 33件 4,565千円</li> <li>&lt;調理等業務の民間委託&gt;</li> <li>○豊岡センター 委託期間 3年3カ月 (R4.1.1~R7.3.31) 委託料 年間75,262千円 (税込) 委託業者 イートランド(株)</li> <li>○玉センター 委託期間 3年 (R3.4.1~R6.3.31) 委託料 年間70,543千円 (税込) 委託業者 葉隠勇進(株)</li> <li>※週,月,学期末ミーティングの実施</li> <li>※委託業者による調理,配送員の衛生講習や 技術研修の実施及び報告</li> <li>※委託業者による巡回指導の実施</li> </ul>				

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③学校・家庭・地域との連携	<p>・家庭教育学級や栄養教諭による給食時間の訪問指導など、学校・家庭・地域社会を含めた連携により、食生活に対する正しい知識を持った児童生徒の育成や、保護者に食習慣の形成と健康づくりについて啓発・推進を行った。</p> <p>&lt;栄養教諭による食育指導の実施&gt; 小中学校における食育をさらに充実していくために、発達の段階に合わせた栄養教諭による食に関する指導を実施した。</p> <p>&lt;情報の提供&gt; 地場産物や全国の郷土料理、季節に合った食の最新情報などを献立表に掲載した。また、給食時間の校内放送用の資料を提供した。</p>	○	継続	◎	<p>・食育における保護者への意識付けは、継続的な取り組みが求められる。全体指導とともに個別相談にも努めていただきたい。</p>	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	④食物アレルギーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立表へ使用食材を記載し、希望者に「アレルギー配合表」を配付し情報提供をした。</li> <li>・就学前児童に食物アレルギー調査を行い「食物アレルギー対応マニュアル」に沿った対応を実施した。</li> <li>・学校、保護者、給食センターによる三者面談を実施した。</li> </ul> <p>&lt;食物アレルギー対応者数&gt;</p> <p>豊岡センター 22人  ※三者面談 2人</p> <p>玉センター 21人（うち下妻市8名）  ※三者面談 3人</p> <p>&lt;みんなでスマイル給食の日&gt;</p> <p>食物アレルギーや宗教上の理由などで同じ給食を食べられない子供たちにも、みんなで一緒に食べる給食の楽しさの共有と多文化への相互理解のため、食材に配慮した給食を提供した。</p> <p>実施日 豊岡 令和4年10月3日、4日  玉 令和4年10月21日</p> <p>給食内容 アレルゲン28品目を除いた、動物性食品を含まない献立</p>	○	食物アレルギーへの対応は、学校・保護者・給食センターでの情報共有が必要不可欠であるため継続。但し、みんなでスマイル給食の日は、重度の食物アレルギー症状を持つ子や戒律を重んじる子など、食べられない子供たちもいるため、R4年度をもって廃止になった。	◎	・「みんなでスマイル給食の日」に代わる新たな視点での取り組みを求めたい。
6	心豊かにする読書教育の充実					
	①読書教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を通して、継続的な読書活動を勧めた。小学校は年間50冊、中学校は年間30冊で県教育長賞を授与している。また小学校は3年間300冊、中学校は3年間150冊で県知事賞を授与している。このような表彰を通して、読書推進を図った。</li> </ul>	○	継続	◎	・中学校で「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の充実を図り、読書教育を推進していただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②図書館活動の推進						
	市民ニーズに応えた資料の充実やサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入や寄贈により、図書3,732冊・CD309点・雑誌129タイトル・新聞18紙を収集。うち、図書404冊、CD67点については利用者からのリクエストに対応。</li> <li>・リサイクルフェアを春と秋において2回開催した。のべ412人参加。</li> <li>・一般書・児童書コーナーにおいて、毎月特集コーナーを開設した。</li> </ul>	○	【継続】資料の収集・整理・保存は、図書館の基本であり、大切な業務である。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の充実においては、寄贈や遺贈の呼びかけをしていただきたい。</li> <li>・ホームページを活用した新刊図書の紹介やマイページ活用のPRなど、さらに魅力ある図書館運営を進めていただきたい。</li> <li>・各学校で時期が重なる難点があるが、教材に合わせた作者や関連した図書の団体貸出も検討していただきたい。</li> <li>・地域交流センター図書室との連携を強化して利便性を高めていただきたい。</li> <li>・図書館施設を活用した魅力的なイベントをさらに充実させていただきたい。</li> </ul>
	ホームページ・インターネット等を活用したサービス提供やレファレンスサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーな情報発信となるよう、ホームページ等への掲載時期に留意した。</li> <li>・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを活用した情報提供を行った。</li> <li>・オンラインによる講習会の受講及び利用者から受けたレファレンスについては、司書だけでなく全員で共有してレファレンスサービスの技術を学んだ。</li> </ul>	○	【継続】多くの方に情報が伝わるように周知方法をさらに増やしたい。レファレンス業務については、職員個々の能力向上と後進の育成が必要である。	◎	
	子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年12回ブックスタート事業を実施。248組の参加者に絵本を配布。</li> <li>・小中学校11校の図書室、公立児童クラブ及び幼稚園への団体貸出を実施。</li> <li>・読み聞かせボランティア育成のための研修会を2回開催し、技能の向上を図った。</li> </ul>	○	【継続】ボランティアの高齢化に伴い、新規ボランティア獲得が喫緊の課題である。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	図書館サービス網の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互貸借制度により、他館から310点を借り受け、当館からは134点を貸し出した。</li> <li>地域交流センター図書室を介した資料貸出を行った。また、「お城で返却できます」と広報し、図書館の本を地域交流センター図書室でも返却できるようにしている。</li> </ul>	○	<b>【継続】</b> 県外図書館との相互貸借についても、一定の実績がある。地域交流センターでの返却は好評であり、利用者が増加している。	◎	
	施設の維持管理と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>視聴覚室を文化団体の活動の場や常総ほっとサタデーの教室として提供し、土日祝日には学習室として開放した。</li> <li>二水会館でのリサイクルフェアに合わせ、中庭を利用した読み聞かせを実施するなど、コロナ禍でもできる事業の開拓と施設の有効活用を図った。</li> <li>本図書館の開館40周年記念事業として、絵本作家の真珠まりこ氏をお招きして講演会を実施した。（参加者59名）</li> <li>40周年の記念品として、図書館のオリジナルトートバックを作成し、読書推進に寄与した方等に配布した。</li> <li>茨城県近代美術館の提案による、美術作品等を映像による鑑賞及び学芸員の説明によりクイズ・インタビューを交えて行う鑑賞プログラムである「ハローミュージアム」を図書館において2回開催した。</li> <li>市内在住、在学の小学校3年生から6年生を対象として、ユニークな理科実験などを行う「おもしろ理科先生」を夏休みに合わせて1回開催した。</li> </ul>	○	<b>【拡充】</b> 図書館の雨漏り等の大規模修繕について実施設計を作成した。令和5年度大規模修繕工事が行えるようにすすめていきたい。二水会館について国登録文化財としての保全・利用計画についてすすめる。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
<b>7 安心して子育てできる就学前教育の充実</b>						
①子どもの自主性・自立性の芽生えを支援する幼児教育の実施	・計画訪問や要請訪問において、発達段階に応じた「遊び」を通して環境に主体的に関わっていく力の育成が図られるよう、授業参観と指導助言を行った。	○	継続	◎	・計画訪問等を通して、適切な助言・指導を行っていただきたい。	
②保幼小中の積極的な連携	・「保幼小合同研修会」を行い、保育者と教員がそれぞれの教育内容や指導方法の違いを理解し、幼児教育と小学校の円滑な接続が図られるようにした。 ・新入学児の情報交換を行い、連携を図った。(1-③の再掲)	○	継続	◎	・円滑な接続が図られるよう合同研修会を継続的に実施していただきたい。	
③就学前家庭教育の推進	対話講座で行えた学校もあったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から資料配布を行った学校もある。 延べ32回 991名	○	継続	◎	・家庭教育のあり方について、さまざまな方法で情報を提供していただきたい。	
④多様な保育ニーズへの対応	預かり保育の実施 (実施時間) 平日：教育終了後～午後6時 夏・冬・春休み：午前8時30分～午後6時 (実績) 実施日数： 227日 利用者数 おひさま幼稚園 23名 にじいろ幼稚園 59名	○	継続	◎	・安心して子育てができるよう今後も保護者のニーズに応じた預かり保育を実施していただきたい。	
⑤教育環境の整備	・危険箇所等の修繕・工事を実施した。 幼稚園2園 修繕料 265,000円 工事費 180,000円  ・教材備品購入 64,000円	○	継続	◎	・定期点検により危険箇所を把握し、安全な施設管理に努めていただきたい。	